

第23回

日本観光研究学会 全国大会 学術論文集

Proceedings of JITR Annual Conference

2008年11月

目次

第1会場

1. 地域資源としての炭鉱遺産の評価に関する考察 1
—夕張市清水沢地区でのタウンウォッチングを事例に—
佐藤 真奈美・吉岡 宏高
2. 北海道空知旧産炭地域における炭鉱遺産を手がかりにした地域再生 5
吉岡 宏高
3. 英国ランドマーク・トラストの設立過程と活動実態 9
渡邊 浩良・羽生 冬佳
4. 観光資源としての考古遺跡の活用可能性に関する研究 13
—「北海道・北東北の縄文遺跡群」を事例として—
鎌田 雅人
5. 韓国におけるスローシティ (citta slow) 導入と観光資源化についての考察 17
張 喜貞・宮城 佳奈
6. 日本風景街道における新たな魅力ある観光スポット創出の可能性 21
—佐渡國しま海道 (新潟県佐渡市) を事例として—
佐藤 友理子・岡本 直久
7. 農山漁村地域における着地型旅行に関する一考察 25
—長崎県松浦市を事例として—
国枝 よしみ
8. 都市住民の「農」を媒介とした交流活動 29
三浦 知子
9. 韓国における農漁村民宿事業制度の展開 33
鄭 玉姬
10. 成熟社会における旅行のあり方に関する研究Ⅱ 37
—19世紀のメディアによる考察—
中鉢 令兒・中鉢 華鈴

11. 明治期・奈良ホテルの成立と国際観光地形成について —外国人ホテルの建築的な意味— 川島 智生	41
12. 第四回内国勸業博覧会と広域観光計画について 工藤 泰子	45
13. 明治初期における外国人旅程に関する考察 —熱海「真誠社」宿帳の分析から— 大久保 あかね	49
14. 観光史を捉える歴史観について 溝口 周道	53
15. 印刷技術の発展と観光宣伝 —大正・昭和初期を中心に— 高嶋 竜平	57
16. 1930年代における東アジア周遊観光への構想 佐野 浩祥	61
17. 近代中国避暑地にみる英国レジャーの投影 潘 丹・安島 博幸	65
18. 江戸時代後期の温泉地における交流空間 内田 彩	69
19. Podcastを用いた観光学音声資料配布システムの作成 益田 誠也・秋山 綾・古本 泰之・野口 洋平	73
20. 総合的な学習の時間における観光教育のモデルカリキュラム開発 宍戸 学	77
21. 観光教育・研究におけるデジタルアーカイブの活用 —講義での画像活用事例をめぐる考察— 丹治 朋子・宍戸 学・中村 哲・鈴木 涼太郎	81

第2会場

22. 温泉宿泊施設におけるサービス改善についての一考察 —北海道定山溪の宿泊施設を事例として— 和田 早代	85
23. 宿泊産業における人的サービスの文脈性に関する研究 福島 規子・村上 和夫	89
24. 社会心理学的視点によるキャビンアテンダントと乗客との コミュニケーション分析 櫻村 妙子・古屋 秀樹	93

25. 接客場面での感情不調和の発生がホテル従業員のサービス態度に及ぼす影響 崔 錦珍・姜 聖淑	97
26. 観光目的地選択における意思決定モデル —台湾人と日本観光— 葛西 洋三	101
27. アドベンチャーツーリズムにおける観光客のリスク認知に関する研究 稻葉 正思	105
28. 団塊世代の観光行動の特徴 —旅行会社の聞き取り調査を通して— 柳 銀珠	109
29. 東南アジアにおける日本人バックパッカーの移動と行動の特性 友原 嘉彦	113
30. 外国人個人自由旅行者の実態報告 —釜ヶ崎の簡易宿所でのアンケートと聞き取り調査から— 松村 嘉久・濱中 勝司	117
31. 関西における中国人の観光行動研究 —観光行動の進化・多様化に関するモデル化の試み— 木沢 誠名	121
32. イラン・イスラム共和国をディスティネーションとする場合の日本人観光客年代別調査 杉山 維彦	125
33. 個人属性を考慮した国内・国外旅行発生量の特性分析 —日本人の国内・国外の宿泊旅行データを事例として— 野瀬 元子・古屋 秀樹	129
34. 自然環境が与える心理的効果の日・韓比較分析 陳 潤宣・山口 一美・橋本 俊哉	133
35. 観光行動に関するコーホート分析 —「団塊の世代（1947～49）」を中心として— 前田 勇	137
36. 明治末～昭和初期の政財界要人別荘における茶の湯による交流 高柳 順一・安島 博幸	141
37. 山中湖における別荘を中心とした観光開発の新展開 加藤 文人・中田 力	145
38. 国内ロングステイ普及の課題：安くて快適な長期滞在宿泊施設 島田 展行	149
39. ロングステイツーリズムにおける観光振興とその課題 千葉 千枝子	153

40. 旅行会社と旅行商品のポジショニングに関する考察 鎌田 裕美・金 春姫・韓 東后	157
41. ホテル情報の効果的な伝え方とは？ 花井 友美・小口 孝司	161
42. 観光地における地域ブランドの認知構造に関する研究 岡本 直久・崔 瑛	165
43. ホテル業におけるABC分析の有効性に関する研究 金 振晩	169

第3会場

44. 居住年数が観光開発に対する地域住民意向に与える影響 —西表島および石垣島における住民意向調査を事例として— 大谷 健太郎・仲村 篤	173
45. 観光・交流へのかかわりによる 漁業者のエンパワーメントの過程にかんする研究 —北海道浜中町の漁業者活動を事例に— 木野 聡子・敷田 麻実	177
46. 外部者と地域住民との継続的交流による観光スタイルの提案 —伝統祭事「キリコ祭」を事例として— 政田 将昭・水本 恵一・堂下 恵	181
47. 湯布院の観光地としての発展と 地域住民の生業意識及び地域アイデンティティ 韓 準祐	185
48. 洞爺湖周辺地域におけるエコツーリズム推進の可能性についての考察 市岡 浩子・中鉢 令兒	189
49. 釧路湿原におけるエコツーリズムの現状と可能性 —釧路川カヌー川下りを中心として— 臺 純子・市川 雄太・佐藤 哲	193
50. 世界遺産「知床」における観光者の環境保護と その担い手に対する認知に関する研究 海津 ゆりえ・張 然・山口 一美	197
51. エコツーリズム推進における適地性と発展プロセスの比較研究 沓掛 博光・敷田 麻実	201
52. 持続可能な自律的観光における中間システムとマネジメントについての分析 —北海道浜中町の霧多布湿原トラストの事例分析からの示唆— 敷田 麻実・森重 昌之	205

53. ドイツ クアオルトにおける音環境に関する研究 小関 信行	209
54. 自然観光が及ぼす心理的効果に関する実験的研究 —尾瀬国立公園における散策体験を事例に— 相澤 孝文・橋本 俊哉	213
55. 尾瀬片品地域におけるヘルスツーリズム推進のための課題について 一場 博幸・村松 保枝	217
56. 日本人と外国人のための富士山の道標の役割の比較 トマス E ジョーンズ・山本 清龍・荒牧 重雄	221
57. 富士山における日本人登山者のための道標の役割に関する研究 山本 清龍・トーマス E ジョーンズ・荒牧 重雄	225
58. 地場産品の観光活用に関する「開発社会学」的研究 —地場産品の観光活用の一形態としての「ご当地グルメ」の可能性の検証— 岡田 あゆみ	229
59. 異文化理解・文化交流としての観光マネジメント —日本の文化・歴史を発進する観光マネジメント— 前原 直子	233
60. 特色のある産物を核とした地域づくりと観光活性化にかんする研究 古田 睦美・清住 浩一・高野 純圭・山口 友子	237
61. 災害からの復興とツーリズムによる地域再生 —タイ国南部アンダマン海沿岸の事例— 清水 苗穂子	241
62. 佐渡の観光的魅力の変遷と整備への取り組みに関する研究 阿部 秀美・羽生 冬佳	245
63. 伝統祭事「キリコ祭」における体験参加の受け入れ体制整備の提案 小泉 洋子・飯田 知也・堂下 恵	249
64. 湯田温泉宿泊者観光消費支出調査に基づく、仮説課題による 観光振興政策の経済波及効果の変化についての考察 浜田 泰	253
65. 軽井沢駅前におけるマンションの立地と新幹線通勤の増加 佐藤 大祐・斎藤 功・馬場 泰仁	257

第4会場

66. 登別ゲートウェイセンターの設立背景とその役割に関する研究 —温泉地活性化の観点から— 櫻井 佑実	261
--	-----

67. 広域観光を推進する組織のネットワーク戦略 —東北地方のローカル鉄道を事例に— 富岡 耕太	265
68. アジア諸国の国際観光政策に関する考察 栗原 剛・岡本 直久	269
69. 戦後日本の商業・観光政策の変遷 —1960年代以降を中心に— 中井 郷之	273
70. 温泉地におけるエコミュージアムの考え方 —上山田温泉資料館の試み— 深見 聡・井出 明・滝澤 公男	277
71. 地域主導の観光を通じた新たな地域づくり主体の形成 森重 昌之	281
72. 地域関係者による観光イベントを成功へ導くためのアドバイザーの手法 浅尾 均	285
73. 地域資源を活用した着地型観光事業づくりと地域再生に関する基礎的研究 金井 萬造・小阪 昌裕	289
74. 地域資源を活用した着地型観光事業づくりと地域再生に関する事業化考察 小阪 昌裕・金井 萬造	293
75. 観光まちづくり学習の運用プロセスに関する研究 —さいたま市岩槻区における官学協働による試み— 富澤 浩樹・大西 律子	297
76. 作家の「まなざし」から広がる地域づくり —山口県長門市を事例として— 山崎 隆之・十代田 朗	301
77. 「観光まちづくり」と住民意識についての研究 —石川県加賀市大聖寺住民の意識調査を通して— 佐々木 真理子	305
78. 川越に見る町並み観光地形成に伴う観光関連事業の拡大 井上 晶子・安島 博幸	309
79. 地方自治体の観光関連条例に関する基礎的研究 後藤 健太郎・梅川 智也	313
80. 沖縄県におけるカジノの経済効果に関する考察 仲村 篤・大谷 健太郎	317
81. 2000年以降における日本人海外旅行者数の伸長鈍化の考察 廣岡 裕一・宮城 博文	321

82. 外国為替相場と訪日外国人観光客	325
今井 健一	

83. 世界遺産登録に伴う国内観光地の入込客数の変化についての考察	329
朝倉 俊一	

第5会場

84. 祭事への外部者参加を通じた体験型観光および地域活性化の検討	333
堂下 恵	

85. 観光化と観光地住民のアイデンティティ変容	337
—ベトナム山岳民族モン族のフィールド・ワークから—	
須藤 廣	

86. 世界遺産「麗江古城」の自然基盤に関する研究	341
杜 国慶	

87. ジオツーリズムとは何か—わが国におけるその可能性	345
横山 秀司	

88. アニメーション作品が観光振興に与える影響に関する研究 (その1)	349
—アニメ聖地巡礼の誕生と展開—	
岡本 健・山村 高淑・松本 真治・坂田 庄巳	

89. アニメーション作品が観光振興に与える影響に関する研究 (その2)	353
—埼玉県鷲宮町における「らき☆すた」聖地巡礼の展開経緯と 来訪者動態について—	
山村 高淑・岡本 健・松本 真治・坂田 庄巳	

90. アニメーション作品が観光振興に与える影響に関する研究 (その3)	357
—埼玉県鷲宮町における「らき☆すた」聖地巡礼者の属性と 旅行形態に関する考察—	
石川 美澄・岡本 健・山村 高淑・松本 真治	

91. アニメーション作品が観光振興に与える影響に関する研究 (その4)	351
—「らき☆すた」聖地における巡礼者の人数把握方法について—	
大谷 あやの・岡本 健・野中 萌・坂田 庄巳	

92. 観光創造における「社交」と「文化デザイン」	365
吉田 順一	

93. 裏原宿における人的ネットワークが都市観光地形成に及ぼす影響	369
余 京珍	

94. 文化を基盤とした地域発展戦略と観光に関する研究	373
—光州広域市の文化都市づくり事業を事例として—	
庄子 真岐・孫 明希・増田 聡	

95. ケータイ小説と観光 井上 努	377
96. ポピュラーカルチャーの観光対象化に関する考察 —芸術=文化システム論を中心に— 権 赫麟	381
97. 旅行会社が取り組む「文化イベント」における文化の論理 鈴木 涼太郎	385
98. プライダル市場に関する一考察 下島 康史	389
99. 我が国のクルーズ・マーケットにおける発展過程と課題における一考察 五艘 みどり	393
100. 都市観光マーケティングの課題と展望 西井 和夫・近藤 勝直	397
101. 旅行者の購買意思決定における「消費者関与」概念の適用可能性 西村 幸子	401

第6会場

102. 土産話の構造分析 古屋 秀樹・齋藤 とも子	405
103. 独立成分分析による水族館情報の日米比較分析 —ホスピタリティ情報としてのWebコンテンツを中心として— 朴 在徳・原 辰彦	409
104. ICTの利活用によるバーチャルコミュニティの形成 梅村 匡史	413
105. 「みやげ話」における「なにもない」土地の語りに関する考察 村上 和夫	417
106. 若者の海外旅行離れ「論」への試み 高井 典子・中村 哲・西村 幸子	421
107. 「労働」と観光が融合したボランティアツーリズムに関する研究 中村 憲司・松本 秀人・敷田 麻実	425
108. グローバル・ツーリズム試論 —二国間ツーリズム・システムからみた持続可能な観光— 小林 裕和	429
109. 発展途上国の開発における世界遺産の役割に関する一考察 —メキシコ チチェン・イツァ遺跡の事例— 石黒 侑介	433

110. 低炭素社会と持続可能な観光 —地球温暖化時代のツーリズムのあり方— 九里 徳泰	437
111. 「岸和田千亀利灯路」における着地型観光の可能性 奥 正孝・高倉 美佐子・小川 雅司	441
112. 「醜醇都市」というキーワードに関する考察 —金沢市を例として— 金岡 奈穂子・麦屋 弥生	445
113. 町あるき観光に於ける観光ボランティアの役割についての考察 矢島 正枝	449
114. 長浜の都市観光戦略と観光圏整備 大矢 正樹・近藤 勝直	453
115. 大都市における水辺空間の観光化に関する研究 —北京の什刹海を事例として— 何 晨	457
116. 航空利用客の乗り継ぎ特性に関する考察 小島 肇	461
117. 国内線運賃多様化とその要因 佐藤 有良	465
118. 路面電車の観光活用に関する研究—京都の事例 正木 聡	469
119. 大都市観光地域における来街者活動特性と観光入込客数推計に関する考察 吉田 樹・秋山 哲男・太田 悠悟	473

ポスターセッション (2008年5月31日(土)発表)

1. 日本とロシアの自然風景の評価比較プロジェクト 青木 陽二・古谷 勝則・松島 肇・高山 範理	477
2. 「醜醇都市」というキーワードに関する考察—金沢市を例として— 麦屋 弥生・金岡 奈穂子	479
3. 湯治宿の機能と課題に関する一考察—観光・療養・文化の観点から— 櫻井 佑実・岡本 健・山村 高淑	481
4. 観光行動中に観光者が得る情報に関する一考察 —観光現象を分析するための情報理論の構築に向けて— 岡本 健・山村 高淑	483

5. 近代中国避暑地にみるホリレジャー的要素 潘丹・安島博幸	485
6. システム・アプローチによる持続可能な観光のシステムに関する 分析について —東アジアを事例として— 小林裕和	487
7. イサム・ノグチとユネスコ庭園—作品の背後にある人生と旅の経歴— 曲賽賽・岡本健・山村高淑	489
8. 持続可能な観光における地域内外の関係性モデルの提案 敷田麻実・森重昌之	491
9. 地域内外の関係性モデルにおける「中間システム」に関する研究 森重昌之・敷田麻実	493
10. 芸術家が持つ発信力を一般旅行者に応用した観光地域づくりへの示唆 木野聡子・敷田麻実	495
11. 地域におけるエコツーリズムと持続可能な観光の融合 —ローカルとグローバルの接続問題への展望— 九里徳泰・敷田麻実・海津ゆりえ	497
12. 外来イベントを地域が主体的に活用するための仕組みの研究 —北海道洞爺湖サミットに際する札幌おもてなし隊を事例として— 成田吉希・森重昌之・敷田麻実	499
13. 明治以降の茶の湯を通じた交流と別荘・別邸 高柳順一・安島博幸	501
14. 団塊世代の定年後の観光行動の特徴 —過去の観光経験との関わりを中心に— 柳銀珠	503
15. 湯布院の観光地としての発展と住民の生業に対する意識調査 韓準祐	505
16. 文化観光におけるポピュラーカルチャーに関する考察 権赫麟	507
全国大会研究発表論文募集要項	509
日本観光研究学会ポスターセッション募集要項	511
全国大会研究発表論文集投稿規定	513